

府老連

きょうと

2018
No.162



▲城陽市高連 出回登喜子氏提供

- 会長・知事新年の挨拶…………… 2～3
- 第46回全国老人クラブ大会（京都府開催）…………… 4～7
- 第38回京都府老人クラブ大会…………… 8～9
- ねんりんピック秋田2017…………… 10
- 第29回「老人クラブ女性リーダーセミナー」…………… 11
- ブロック別若手リーダー研修会…………… 12
- 「新地域支援事業」に向けての行動提案…………… 13
- 高齢消費者被害防止キャンペーン…………… 14
- 今こそ女性の出番・広告…………… 15～16



新年のご挨拶

京都府老人クラブ連合会

会長 香月 芳雄

新年明けましておめでとうございます。

皆様方におかれましては、希望に満ちた輝かしい新春をお迎えになりましたことを心からお慶び申し上げます。

昨年は、「第46回全国老人クラブ大会」が悠久の歴史と文化に育まれたここ千年の都京都市に、全国各地から1650名の皆様方をお迎えして盛大に開催することができました。これもひとえに役員の皆様をはじめ府内25市町村老連の会員の皆様及び関係各位の深いご理解とご支援・ご協力の賜物であり、ここに深い敬意と感謝を申し上げます。

さて、今日の社会情勢は、出生率の低下や平均寿命の伸長などにより、急速な少子高齢化が進む中、私たちは、「健康・友愛・奉仕」の全国三大運動を基盤に、「のぼそう！健康寿命、担おう！地域づくりを」のメインテーマのもと、「会員増強運動」や「新地域支援事業」あるいは「高齢消費者被害防止事業」など、幅広い活動を実践してきました。

しかしながら、高齢者を取り巻く環境は、年金、医療、介護といった社会保障制度の改革など、年々厳しさを増しているところであります。

このような状況の中、今こそ、高齢者が長年に亘って培ってきた知識や経験、技能などを生かし、社会の一員としてその役割を担っていくことが期待されています。私たちは、住み慣れた地域で長く生活続けるために、自らの健康寿命をのぼし、同世代同志の見守りや生活支援などの支えあい活動を通じ、明るく豊かな長寿社会を共に創り上げていかなければなりません。

そのためには、「仲間づくり活動」の最終年度を迎える「会員増強運動」をより一層積極的に推進し、老人クラブの組織の充実と活性化に努めていくことが、極めて重要であります。

新たな門出を迎え、皆様方の格段のご支援・ご協力を賜りますよう、心からお願い申し上げます。新しい年を迎えるにあたり、皆様様のますますのご健勝とご多幸を心から祈念申し上げます、私の年頭のごあいさついたします。

謹賀新年

(一財)京都府老人クラブ連合会 〈きらりクラブ京都〉

◆監
事

橋本 俊次
山上 幸二
席若 哲夫
松本恵美子
井上 守
奥西 幸子
武藤 守
平野 純子
中川百合子
樋口 孝子
内海 志伸
田中 丈夫
今西 邦雄
小林 弘
太田 雅通
井上 源一
中川 剛
眞下 賢一
中川 容子
尾瀬 崇
谷 義治
西村 成晴
寸田 武
香月 芳雄

◆理
事

◆副
会
長

香月 芳雄



明日の京都を描くため

京都府知事 山 田 啓 二

府民の皆さま、あけましておめでとうございます。

昨年を振り返って

京都府では、林田・荒巻府政以来築き上げてきた社会基盤がいよいよ実を結ぶ時期となりました。昨年4月に新名神高速道路の城陽・八幡京田辺間が開通し、ついに京都は京丹後市から木津川市まで高速道路によってひとつに繋がりました。

「海の京都」、「森の京都」と続き、昨年は「お茶の京都」事業により、南部地域全体に大変多くの人が訪れるとともに、北部地域では、美しい絹織物の地「丹後ちりめん回廊」が日本遺産に認定されるなど、観光面でも過去最高の賑わいとなり、府域全体が大きな盛り上がりを見せた一年となりました。

また、文化庁の全面的京都移転も正式に決定、移転場所も府庁の警察本部本館に決まり、名実ともに京都が「文化首都」と位置付けられ、文化芸術立国に向けて大きな役割を担うことになった重要な節目の年となりました。

しかしながら一方では、依然、我が国周辺で安全保障について大きな緊迫感が続くとともに、少子高齢化や東京一極集中の加速、子どもの貧困など様々な課題が改めて浮き彫りになった一年でもありました。

未来を切り拓く鍵

こうした背景には、少子高齢化や情報化、国際化の中で、家族形態も含め社会の多様化が進展することに対して、「地域の力」「自治の力」が低下し、旧来の制度や考え方は支えきれない局面が生まれてきたことがあげられると思います。

特に近年では、様々な格差の問題や孤立社会といわれる無関心時代の到来も指摘される中、京都府では、従来から地域力再生を掲げ、地域の絆などの新しい地域づくりの環境・土台を基に、半公半Xの公共員制度や地域の公民の生活機関を集中化したコミュニティコンビニの整備、子ども食堂や居場所づくりのためのこどもの城事業、さらに高齢化時代に医療、介護、福祉を連結させる地域包括ケアの推進、女性活躍から障害のある方の農業分野での活躍を支える農福連携など、幅広く「共生社会」の実現に向け取り組みを進めてまいりました。

新しい時代へ

今年は「明治」への改元、そして京都府の設置から150周年にあたります。当時、京都では、多くの人や産業が東京へ移り、3分の1の人口が減少したため、千年にわたって都として栄えた京都は、かつてない大きな危機に直面しました。そのような激動の時代にあっても、京都府は、日本初の小学校（上京27番組（柳池）小学校）や女学校（新英学校および女紅場、盲ろう学校（京都盲啞院）の開校、府立医科大学の前身である医学校を療病院に付置、京都大学の前身である第三高等中学校の大阪からの誘致、同志社大学の設置許可など人づくりを中心に府政を進め、さらに琵琶湖疏水の建設や経済界とも連動した京都博覧会の開催で産業の振興を図り、西陣織や茶業など様々な分野で新たな取り組みを進め、京都を復活させました。これが京都府政の原点であります。

そうした先人たちの努力が今日の京都の礎を築いてきたのであり、そこには、どんなに困難なときも未来に投資をして、未来のために現代を生きる京都の気概があります。

この150周年という節目を迎えるにあたり、今の京都の基盤が形作られてきた明治の時代を振り返り、常に先進的な取り組みを続けてきた先人たちの姿勢を受け継いで、新しい人づくりと文化力づくりによって京都の生き方が一層魅力あるものになるように、私たちは全力を挙げなければなりません。

京都には今、年間8,700万人もの観光客が訪れており、世界的にも日本、そして日本文化のふるさと・京都への関心が高まっていますが、2019年から3年連続でラグビーワールドカップ、東京オリンピック・パラリンピック競技大会、ワールドマスターズゲームズ2021関西と大規模な国際大会が開催されます。

この機を捉え、「京都文化力プロジェクト2016―2020」をはじめオール京都で力を合わせ、京都から日本の文化を発信し、大きな交流の渦が巻き起こるよう、全力を傾けてまいりたいと存じます。

人と文化によって地域の資源、歴史、伝統を活かし、人と人とが支え合う共生社会の実現により、地域の力を再び取り戻し、新たな時代を切り拓くため、共に歩んでまいりましょう。

私は、この4月で任期を全うする予定ですが、この一年の、皆さまのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げ、新年のごあいさついたします。



第46回 全国老人クラブ大会 (京都府大会)



いきいきクラブ体操 (城陽市高連女性部)



老人クラブでは、これまで実施してきた健康づくり・介護予防や友愛活動などを一層発展させ、「新地域支援事業」に活かすことが求められています。この部会では元日本福祉大学教授の中川晴夫先生を助言者にお迎えして、視聴覚機材を使って3つの実践活動が発表されました。

第一日目 活動交流部会 (10月18日)
◎第一部会 みやこめつせ
「老人クラブ活動を新地域支援事業に活かす」

大会概要

「第46回全国老人クラブ大会」は平成29年10月18日・19日の二日間にわたり、「のぼさう！健康寿命、担おう！地域づくりを」のテーマのもと、京都府で開催されました。府老連参加者354名を含め全国から1650名の老人クラブ会員・関係者が参加し盛会裡に無事終了しました。



◎第二部会 みやこめつせ
「組織的推進による会員増強運動の展開」

「全国100万人会員増強運動」は4年目を迎え、会員増に転じた市町村老連からは、推進体制の明確化による会員増や自治会との連携・協力による新たなクラブづくりなどの好事例が報告されました。

京都府老連からは「綾部市老人クラブ連合会」の田中丈夫会長が事例発表を行いました。

事例発表を終えて

綾部市老連会長 田中 丈夫

平成26年度に始まったこの運動の中で特に3年目の会員増加は、ひとえに地域における高齢者同士の堅い友愛と会員相互の連帯感の結晶であったと思います。発表後には、会員優遇対策と過疎地域における役員後継者問題について質問が集中しました。

会員証の発行と会員優遇割引店舗の開拓・役員の負担軽減対策に地元の公民館の協力を得ることなど、大変参考になったのではと考えています。

また、他府県の発表においても・高齢化に伴う会員減少問題・役員の成りて不足などの共通した課題が提起され、厳しい実情を痛感しました。

来年度は5年目の最終年度です。各単位老人クラブでは入会勧誘や退会クラブの復活など、あらゆる可能性を求めて精力的に活動しています。今後共ご指導・ご支援をよろしくお願い致します。



府老連報告

◎第三部会 ロームシアター京都メインホール 「演じる活動（舞台発表）」



奨励賞を受賞した京丹後市老連の皆さん
三崎京丹後市市長が特別出演（円内写真）



多くの老人クラブで取り組まれている、創作劇、コーラス、演奏、舞踊、伝統芸能などの演じる活動は、楽しく魅力ある活動のひとつです。この部会では、舞台への実演発表とともに日ごろの活動状況について発表いただくことで、活動を通じた仲間づくり、活性化、地域への広がりなど、取り組みに至った経緯やその成果を共有したいと考えます。それらを総合して審査し、賞を授与されます。京丹後市老連が「丹後七姫物語」を熱演しました。



おかやま桃太郎伝説（岡山市）

丹後七姫物語に参加して

ロームシアター京都の立派な舞台に伝説の「羽衣天女」として立たせていただきました。市老連の皆さんに支えられながら最高に幸せなひと時でした。演じ終えた時、関係者の皆さんと一緒に「頑張ったね！」と喜び合いました。出演が決まった日から今日までの日々を思い出して暮らしています。素晴らしい経験がありました。京丹後市老連 後藤美智子



啓発活動

会場入口付近では京都府警のポリスマろん・みやこのかわいいキャラクターが高齢者の交通事故防止や高齢消費者被害防止のよびかけを行いました。

ホットコーナー

お茶席

ロームシアター4階のテラスはあいにくの雨で使用できませんでしたが、ホワイエから東山の風景をご覧いただきながらお抹茶を味わっていただきました。



お茶席を担当して

京都らしいおもてなしは、京菓子とお抹茶でと、京田辺市老連女性部が担当しました。

召し上がられた後、「大変美味しかったです。」「ほっとしました。」「心が和みますな。」「さすがが京都。」「とお褒めの言葉をたくさんいただきみんな嬉しかったです。

緊張のあまり帯の下が汗ばんでいましたが、担当した甲斐がありました。



京田辺市老連女性部 村上 朝子
ありがとうございました。

京田辺市老連女性部 村上 朝子



第二日目 オープニング・講演
アトラクション (10月19日)

ロームシアター京都メインホール

オープニング

八幡市老人クラブ連合会42名の皆さんによる手話コーラスで式典の幕が開きました。



手話コーラスに出演して

オープニングではどうすれば京都をうまく紹介できるか、こんな大きな舞台で皆をまとめることができるかと不安でいっぱいでした。しかし当日はいつもの練習通りにのびのびと楽しく最後まで進めることができました。

会場では一緒に手話をされる方も多く見受けられ本当に良かったと思えました。なかなか体験できないこのような機会を与えていただき、感謝しています。これからも少しずつ手話が広がるよう頑張っていきたいと思います。

八幡市老連女性部長 福本 淳子

講演 真宗大谷派僧侶・アナウンサー
川村 妙慶 氏

「心の荷物をおろす108の知恵」と題して講演をいただき、参加者に感銘を与えました。



アトラクション

「宮津祭浮太鼓」では幼い子どもたちが一生懸命太鼓を叩くバチさばきに会場からは大きな拍手が沸き上がり、皆さんに感動を与えるとともに衣装の美しさに感嘆されていました。



アトラクションに出演して



全国大会出演は、大変名誉なことであり、大会の成功に向けて練習風景を京都新聞に取材を受けるなど、皆さんで成功に向けて頑張ってきました。特に出演者の半数は小さな子どもたちであり、保護者や学校・園などの調整だけでなく、衣装の調達やバスの手配など大変な苦勞もありました。

しかし、郷土の伝統文化を護るうえで全国老人クラブの満席の中で披露できたことは自信と満足感で一杯です。このような体験を生かし、伝統文化の継承と老人クラブ活動の発展に微力ながら頑張っていきたいと思います。

宮津市老連会長 橋本 俊次



府老連報告

式典

香月府老連会長の歓迎あいさつで始まり、厚生労働大臣表彰と全老連会長表彰が執り行われました。
小田貞彦氏（京丹後市）が全老連育成功労表彰の代表受賞として壇上で授与されました。府老連から表彰を受けた皆さんは次のとおりです。

○厚生労働大臣表彰

▼育成功労者表彰

平野純子（福知山市）

▼優良老人クラブ表彰

天神町老人クラブ（綾部市）

長岡京市老人クラブ連合会

○全老連会長表彰

▼育成功労者表彰

小田貞彦（京丹後市）

安積 諄（福知山市）

▼優良老人クラブ表彰

八幡あやめクラブ（宇治市）

橋立喜楽会（宮津市）



▲歓迎のあいさつ（香月会長）



▲平野 純子 氏



▲安積 諄 氏



▲代表受賞（小田貞彦氏）

大会宣言・全員合唱

中川容子府老連副会長・女性委員長が大会宣言（案）を朗読し、満場一致で採択されました。

最後はおなじみの「青い山脈」を八幡市老連のリードで参加者全員が合唱して終了しました。

来年の全国大会は沖縄県で12月に開催されます。



大会宣言（中川容子副会長）



大会宣言

- ①高齢者の暮らしを支える「新地域支援事業」への参画
- ②健康寿命をのばす「健康づくり活動」、支え合う「友愛活動」の充実
- ③老人クラブ「100万人会員増強運動」の推進
- ④「高齢消費者被害防止キャンペーン」の展開
- ⑤高齢者の尊厳が守られる社会保障制度の確立

大会を終えて

今大会は3年近く前から準備に入り、遠い先のことに感じていましたが、あつという間にこの日を迎え、無事に終了することができました。府老連のパワーを全開して皆さんに頑張っていたいただきました。改めて心よりお礼申し上げます。

お茶席でのおもてなしや資料袋をエコバックにするなど、記憶に残る京都大会にしていただき、全国からいつの日かまた京都にお越しいただくことを願っています。



第38回

京都府老人クラブ大会

第38回京都府老人クラブ大会は、平成29年11月29日（水）、ハートピア京都において開催されました。今年度は、先月に第46回全国老人クラブ大会が京都府で開催されたため、従来の内容を簡略化し、第1部は京都府知事表彰などの表彰式を、第2部は講演会を開催しました。

第1部 表彰式

挨拶

香月府老連会長が受章者にお祝いの言葉及び、先の第46回全国老人クラブ大会が盛会裡に無事終了出来たことに感謝とお礼を述べました。また、高齢社会における私たちの果たす役割や住み慣れた地域で長く生活を続けるために、お互いが支えあい健康長寿の社会を共に作り上げていく必要性を強調しました。そのためにも現在取り組んでいる仲間づくり活動である「会員増強運動」の重要性を呼びかけました。

表彰式

京都府知事及び府老連会長から育成功労者表彰・優良クラブ表彰を、府老連会長から一万人会員増強運動特別表彰並びに全老連会長表彰（活動賞・会員増強運動特別賞）の伝達を行い、それぞれに表彰状と記念品が贈られました。なお、今年度の知事表彰は松村淳子京都府健康福祉部長より一人一人に表彰

状が授与されました。

続いてご来賓の京都府知事山田啓二氏（代理 京都府健康福祉部長 松村淳子氏）から先に開催された全国大会の労いとともに、高齢社会における老人クラブへの期待や活動に対する温かい激励のお言葉をいただきました。

最後に受章者を代表して、京都府知事表彰を受章した尾瀬 崇氏（府老連副会長・京丹後市老連会長）が謝辞を述べ表彰式を終了しました。



▲京都府知事表彰



▲香月会長挨拶



▲謝辞



▲京都府老連会長表彰



府老連報告

京都府知事表彰受章者

●育成功労者（9名）

山崎 彰 （宇治市）

高本 茂之 （八幡市）

大井 比嗟子 （八幡市）

三上 悟 （亀岡市）

尾瀬 崇 （京丹後市）

沖田 清子 （京丹後市）

柴山 勉 （伊根町）

細井 秀治 （与謝野町）

寸田 武 （府老連）

●優良老人クラブ（3クラブ）

五ヶ庄南部喜老会 （宇治市）

平野山和会 （八幡市）

東一口老人会 （久御山町）

京都府老人クラブ連合会会長表彰

●育成功労者 27名

●優良老人クラブ 5クラブ

●会員増強運動特別賞 3クラブ

全国老人クラブ連合会会長表彰

●活動賞 2団体

●会員増強運動特別賞 2団体

第2部 講演会

講演①「人生に彩りを」

西光寺住職・三味線坊主

寺尾 昌治氏

仏教の教えを基に「生・老・病・死」などのどうすることもできない苦を諦め（明らかに見つめる）、「小欲知足」になることにより、物を欲しがらず、現状に満足し、何事も素直に受け入れられる。また、当たり前の生活にありがたいと感じ、今が幸せと思うことが大事である。誰もが知っている当たり前のことだが実行することは難しい。彩りのある人生を送るために自分の生き方を常に考えることが必要だとお話されました。

講演②

「お金に騙されないお笑いマナー劇場」

篠原FP事務所代表 篠原 充彦氏

今なお毎日のように高齢消費者被害が報道されている中、どうしたら詐欺に騙されないか、ファイナンシャルプランナーとして各メディアや講演などで活躍中の篠原先生をお迎えしました。いろいろな詐欺の場面を想定し、その対応について参加者も巻き込んだ実演を通して学習を深めました。会場も一体となった面白トークは大爆笑の連続でした。

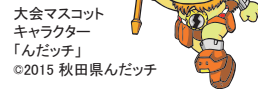
最後に中川容子副会長・女性委員長が閉会のあいさつを行い大会は盛会裡に終了しました。





第30回 全国健康福祉祭あきた大会 ねんりんピック秋田2017

秋田からつながれ! つらなれ! 長寿の輪
平成29年9月9日(土)~9月12日(火)



大会マスコット
キャラクター
「んだッチ」
©2015 秋田県んだッチ

参加報告 府老連事務局次長 和田三千代



地域文化伝承館では秋田県内の老人クラブの出展ブース(17)があり、地域文化・生活文化の伝承活動である▼あけび蔓細工の展示・実演、▼羽子板・ひな人形・押絵等手芸作品の展示、▼炭焼き窯の展

「秋田からつながれ! つらなれ! 長寿の輪」をテーマに9月9日~12日までの4日間、秋田市を主要会場に秋田県全域で約1万人のスポーツ・文化交流参加選手及び関係者が参加し、「全国健康福祉祭あきた大会」が開催されました。

府老連からは、西村成晴副会長(八幡市老連会長)・山上幸二監事(京丹波町老連会長)・寸田武副会長(府老連副会長)と私の4名が9月11日の地域文化伝承館のイベント及び12日の講演会と総合閉会式に参加いたしましたのでその概要を報告します。

17歳の時から芸能界に入り、58年間歌の道を走り続け、芸能界を通して日本という国を見ながら生きてきた橋



講演会では、歌手の橋幸夫氏が「一生健康・一生学習」というテーマで講演されました。

示と説明など、多種多様な内容に会場は大盛況でした。

これらの展示は、市町村老連としての展示や、単位老人クラブとしての展示も多くあり、各クラブが創意工夫を凝らし、地域に根ざした伝承活動がしっかり根付いていることがわかりました。

一方、ステージでは、3日間に渡って51グループが健康体操・民謡・舞踊・郷土芸能等の発表を行い、それぞれの出演団体が日頃熱心に練習された成果に、会場は爆笑と拍手喝采でした。

思った実母の体験を振り返りながら、誰もが避けて通れない超高齢社会の問題と17歳の時から芸能界に入り、58年間歌の道を走り続け、芸能界を通して日本という国を見ながら生きてきた橋

老人性認知症を患った実母の体験を振り返りながら、誰もが避けて通れない超高齢社会の問題と17歳の時から芸能界に入り、58年間歌の道を走り続け、芸能界を通して日本という国を見ながら生きてきた橋

幸夫氏自身のエピソードを交えながらお話されました。歌手という枠を超えて講演講師の立場で大変ユーモアに溢れた楽しい講演会でした。

総合閉会式は、西馬音内盆踊り保存会による「西馬音盆踊り」が披露された後、全国都道府県・指定都市選手団の入場行進があり、京都府旗を府老連西村成晴副会長が掲げて、堂々と入場行進をしました。

その後、次期開催地である富山県副知事に大会旗が引き継がれ、富山県のアトラクションとして、越中五箇山民謡の「こきりこ」と「麦屋節」を富山県立南砺平高等学校の生徒さんが披露されました。最後にメインアトラクションの地元出身の成田為三の半生を「秋田の誇り・成田為三奮闘記」として劇団わらび座の皆さんのミュージカルを鑑賞しました。

最後に成田為三の作曲した「浜辺の歌」を全員で合唱し、ねんりんピック秋田大会は成功裏に幕を閉じました。

来年度の第31回大会は平成30年11月3日~6日まで富山県で開催されます。





平成29年度

全老連女性リーダーセミナーに参加して

宇治田原町老連女性部長 岸本 暁子

平成29年11月16日・17日の2日間、東京の全社協で開催された第29回「老人クラブ女性リーダーセミナー」に府老連女性委員会常任委員の栗林幸子さんと参加させて頂きましたので、その概要を報告します。

セミナーには全国から女性リーダーなど99名が参加しました。

なお、冒頭で先の「第46回全国老人クラブ大会（京都府大会）」のお礼を栗林さんが申し上げました。

【目的】

現在老人クラブでは、①「一〇〇万人会員増強運動」②「新地域支援事業に向けての行動提案」③「高齢消費者被害防止キャンペーン」の取り組みを全国的に展開しています。本セミナーでは「示そう！女性パワー」をテーマに、これらの活動の推進に向けて、日頃の取り組みを持ち寄り、研究、協議を行うものです。

【第一日目】

【開会挨拶】

全老連副会長 頼廣 康子氏

【基調報告】

「老人クラブ組織の発展に向けて」

全老連 事務局長 谷野 香氏

- ① 高齢者を取り巻く社会情勢
 - ② 老人クラブとしての運動・行動提案
 - 100万人会員増強運動（4年目）の推進
- ※女性会員の占める割合は60%。まだまだ可能性はある。

※女性のコミュニケーション力で、声かけ、クラブをPRしよう。女性の情報力を会員増強運動に生かそう。

▼今後の取り組み

- ・市町村老連との協議の場づくり
- ・新規クラブの立ち上げ
- ・解散クラブの防止
- ・単位クラブは純増を目指す
- ▼全国事例集の作成・配布
- 新地域支援事業参画に向けた取り組み
- 高齢消費者被害防止キャンペーンの推進

【事例発表】

(1) 単位クラブ会長の役割と後継者育成について

① 仙台市老連副会長・女性部長

久道 悦子氏

- ・会長歴11年目：新興住宅地で設立し、ボランティアグループと一緒に支え合い活動を実施
- ・麻雀クラブを設立

② 広島市老連理事・女性委員長

木原 和子氏

- ・会長歴7年目：地域の老人クラブの会長が辞任されて解散となり、自分が会長を引き受けて復活させた
- ・シルバー文化祭や体育祭の開催

【全体討議】

- ・女性の単位クラブ会長を増やす取り組みについて活発な意見交換が行われました。

【第二日目】

【ワークショップ】

「高齢消費者トラブル防止のために」

全国消費生活相談員協会

鈴木 伸子氏

○最近のトラブル例

- ・住宅リフォームの訪問販売、定期購入の通信販売、原野商法、電子マネーの不当請求・振り込め詐欺など
- グループワーク
- ・高齢消費者のトラブルに気が付いた時どう対処するか、グループで話し合い講師から消費者センターへの相談やクーリングオフなどの解決方法について説明がありました

【閉会挨拶】

全老連会長 斎藤 十朗氏

- 普段しつかりした人でも被害を受ける
- 仲間づくりの推進と声かけなどの支え合い活動が大切

【おわりに】

初めて参加させて頂いたいただき、各老連の活動がよくわかりました。女性リーダーの方のお話しを聞くことが出来、リーダーの果たす役割が大切であると思いました。





第4回ブロック別 若手リーダー研修会

「公式ワナゲ市町村交流大会」で 熱戦!

山城ブロック 11月16日 八幡市民体育館
参加者：210名（男性145名・女性65名）
丹波ブロック 11月21日 丹波自然運動公園体育館
参加者：101名（男性53名・女性48名）
丹後ブロック 11月6日 与謝野町岩滝体育館
参加者：180名（男性85名・女性95名）



山城ブロック



丹波ブロック



丹後ブロック

昨年度の「公式ワナゲ普及員養成講習会」に続き、今年度は、ブロック別若手リーダー研修会として「公式ワナゲ市町村交流大会」を開催しました。

ニースポーツの普及を目的に府内3会場で、計491名の会員が参加し、各会場とも大きな声援の中熱戦が繰り広げられました。

若手委員会では、ニースポーツの新たな柱として昨年度から公式ワナゲの普及に取り組んできました。この間、多くの地域で「ワナゲクラブ」が発足し、市町村独自の大会も開催されています。

本大会を契機にさらに健康づくりの輪が広がり、会員の増強や「若手部（仮称）」の設立など、老人クラブ活動の活性化につながる事が期待されます。

今回の大会ではワナゲが初めての方や最高齢98歳の方など、経験や年齢に関わりなく幅広い参加がありました。

競技は1チーム5名、1コートで2チームが対戦して行います。各選手が9個の輪を3回ずつ投げ、ワナゲの入った1〜9のピンの点数を合計します。

縦・横・斜めの列にすべて入るとビンゴとなり、点数が倍になることから、どの選手も頭を使い狙いを定めて投げます。

真剣な競技の中にも、今回は交流試合ということで、どの会場も大きな声援に包まれ、和気あいあいと交流も深まりました。

狭い場所でも、雨天でも、少人数でも手軽にでき、そして子供達と一緒に楽しめる「公式ワナゲ」をさらに普及し、仲間づくりの輪を広げたいものです。

競技の結果(優勝)

団体戦は、市町村ごとに上位5チームの総合得点で決定、個人戦はチーム戦の中から個人成績上位3名に表彰状と副賞が贈呈されました。

◇山城ブロック (36チーム)

- ・団体 宇治市老連 1645点
- ・個人 高杉千恵子(宇治市) 540点

◇丹波ブロック (18チーム)

- ・団体 綾部市老連 955点
- ・個人 森永幸代(綾部市) 300点

◇丹後ブロック (34チーム)

- ・団体 舞鶴市老連 1023点
- ・個人 上辻みち代(伊根町) 256点

参加者の声

天候に関係なく誰でも手軽にできるのがワナゲの良いところです。9本の棒に投輪するには無心の集中力が必要ですが、入った輪が一行に並ぶと倍の点数になるのが感動的です。頭も体も使い楽しく交流できた一日でした。

松本恵美子(南丹市)

全国老人クラブ連合会

「新地域支援事業」に向けての行動提案

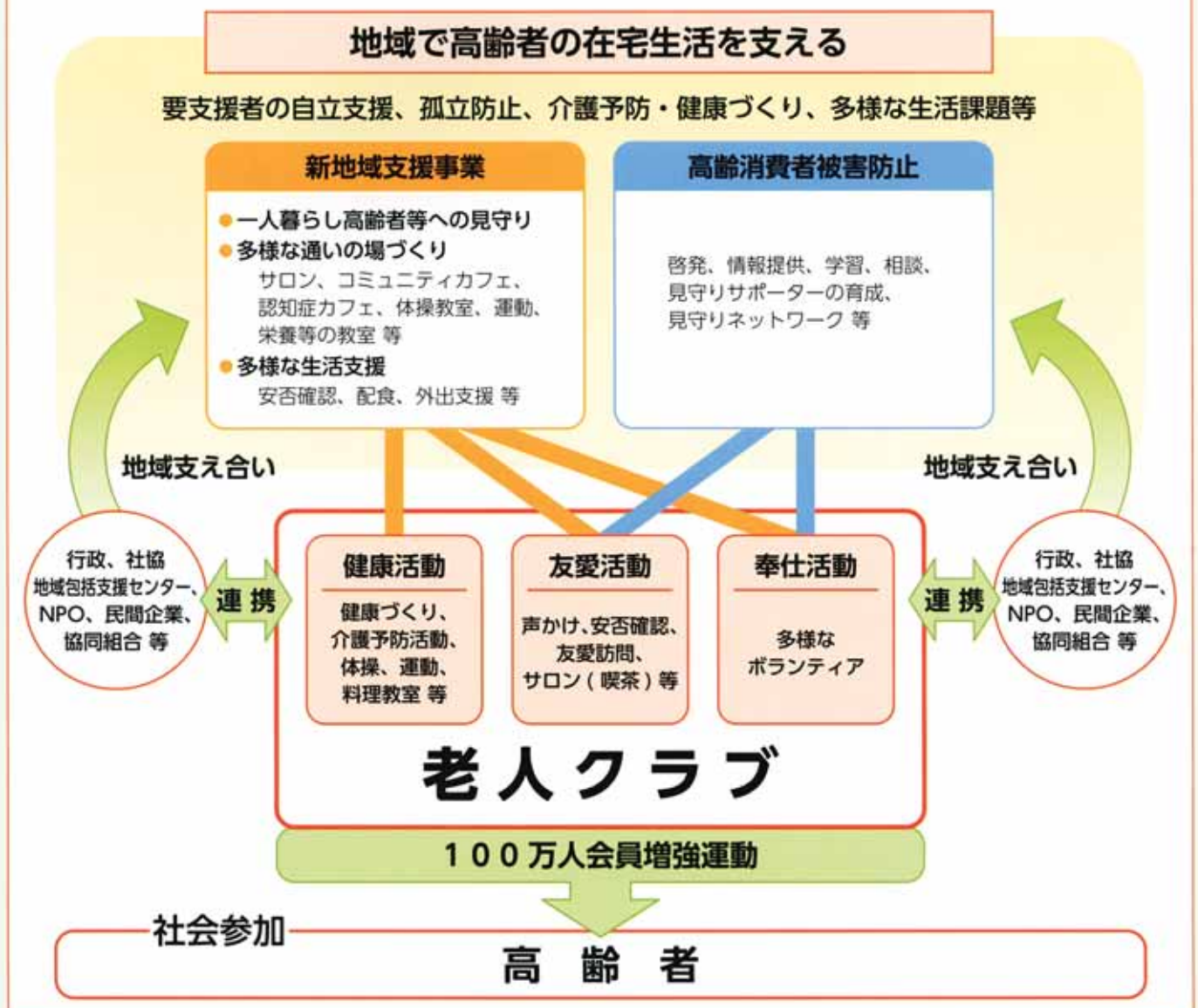
～老人クラブ・高齢者が介護予防・生活支援の担い手に～

- 市町村老連は、速やかに市町村行政の対応計画を把握し、首長や担当者に老人クラブの事業（活動）について説明し、新地域支援事業との関連を再認識してもらうようにしましょう。
 - 市町村からの説明への対応
 - 協働の場（協議体）への参加
- 老人クラブの事業（活動）が新地域支援事業として認められるよう、積極的に働きかけましょう。
 - 老人クラブ活動を活かした介護予防・生活支援活動
 - 老人クラブによる介護予防・生活支援サービス
 - その他の具体的な事例（多様な通いの場、多様な生活支援）
- 新地域支援事業に取り組むことで、老人クラブ活動が一層活性化され「100万人会員増強運動」に弾みをつけることになります。

新地域支援事業アンケート結果（府老連）H29.10

協議体への参加		事業を実施している	
している	予定	老連として	参加協力
9老連	1老連	1老連	1老連

<老人クラブ地域支え合いの図>





高齢消費者被害防止キャンペーン

老人クラブに「見守りサポーター」を おいて被害を防ごう！

「見守りサポーター」は、自ら学び、クラブ活動や暮らしの中で、同世代のつながりを通じて、会員や地域の高齢者の消費者被害の防止に取り組む推進役です。

「見守りサポーター」の役割

伝える

活動や日常生活を通じて、情報を伝えましょう。

友愛訪問や会員が集まる行事や活動を通じて、町内会の回覧や掲示板を使って、会員や地域の高齢者、周辺の人々に、詐欺の手口や断り方、相談窓口などの情報を伝えましょう。

ポイント 情報は、繰り返し、根気よく伝えましょう。

気に かける

困っているサイン、不審な様子を見逃さないように
気にかけてみましょう。

本人の様子 ・元気がない。表情がかたい
・気がかりなことがありそう

周辺の様子 ・見慣れない人が家によく来ている
・工事が長く続いている(業者の出入りが多い)
・ダンボールが家にたくさん積んである

高齢者はだまされたことに気づきにくかったり、被害にあった自分を責めたり、恥ずかしくて誰にも言えないと思ったりするのが特徴とされています。

ポイント 気になる人には「どうされましたか」と、不安な気持ちを理解する姿勢で声をかけましょう。

つなげる

関係機関と高齢者のつなぎ役となって、
地域で連携して被害を防ぎましょう。

消費生活センター、地域包括支援センター、警察、民生委員などの関係機関から得た詐欺被害に関する情報を高齢者に伝えたり、高齢者から聞いた怪しい訪問販売や電話の情報を関係機関に伝えて、連携しましょう。

ポイント 関係機関との情報交換の場を設けたり、地域のネットワークに参加しましょう。

※「見守りサポーター」の役割を紹介した冊子「見守りサポーターの心得」は、全老連ホームページに掲載しています。

世界遺産に隣接する閑静な温泉旅館 ご宿泊プラン

販売期間 2018年2月28日(水)まで(2017年12月31日～2018年1月2日は除く)



お食事、入浴料込み

煌 - きらめき - プラン **16,800円～**



お食事、入浴料込み

夢 - ゆめ - プラン **14,800円～**



天然温泉
『平城宮温泉』

泉質：ナトリウム－塩化物泉（弱アルカリ性・低張性）
 適応症：神経痛・五十肩・冷え性・疲労回復・健康増進等
 禁忌症：病気の活動期（特に熱のあるとき）・活動性の結核
 進行した悪性腫瘍・重い心臓や肺の病気・腎臓の病気・
 消化管出血等

本温泉は源泉に加水、加温しています。また、レジオネラ
 属菌の発生を防ぐなど安心してご入浴いただけるよう循環ろ
 過しているとともに、塩素系薬剤を注入し衛生管理に努めて
 います。

展望風呂(温泉)付
特別和洋室

お1人様ご1泊につき
プラス3,000円
でグレードアップ
(小学生以上対象)



その他のご宿泊プラン お食事、入浴料込み

お1人様
みやこプラン **11,800円～**

お1人様
宝石箱プラン **20,800円～**

かんぽの宿利用提携カードご提示で
 会員1名様につき1泊2食プラン以上で

500円 割引

※御同伴者3名様までです。

ご利用のご案内

- 1室1名様のご利用は、ご1泊につき2,160円を加算させていただきます。(シングルルームは除きます。)
- 仕入れ等の都合により料理内容及び器が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- お子さま(小学生)が大人のプランを利用した場合は、1泊2食の料金からお1人様ご1泊につき2,160円割引させていただきます、12歳未満のお子さまは入湯税(150円)を減額させていただきます。

- ご利用日の6ヶ月前の月の初日からお電話・FAXでご予約いただけます。なお、各プランは前日までにご予約願います。
- 掲載の写真・イラストはすべてイメージです。

※暴力団関係者等反社会的勢力の利用をお断りします。
 ※入れ墨(タトゥー)をしているお客さまは、他のお客さまから入れ墨(タトゥー)が見えない状態でのご利用をお願い申し上げます。

だれでも!!泊まれる。かんぽの宿
 世界遺産に隣接する閑静な温泉旅館

かんぽの宿 奈良

〒630-8002 奈良県奈良市二条町3丁目9番1号

TEL.0742-33-2351

(FAX.0742-33-2353)

かんぽの宿

検索



かんぽの宿マスコットキャラクター

「ゆのぽん」

CM動画公開中!



今こそ女性の出番

～全老連機関紙8月号より～

福井県築上町老人クラブ連合会会長 西畑イツミさんの記事（抜粋）を紹介します。
女性会員のみなさんに熱いエールを送っていただいています。

平成22年に老人会に入会して、まさか自分に会長役がまわってくるとは夢にも思っていまませんでした。会員の熱意に押され単位クラブの会長を引き受けることになり、その後女性としては初めての町老連会長に選出されました。この一年間、私にとっては、会の行事をこなすのに精一杯でしたが、それも役員さんはじめ会員の皆さんのご協力のおかげだと感謝しています。

人生80年時代の今日、会員同士の交流・支え合いを通じて、健康寿命を延ばして元気に過ごしていけるように、互いに知恵と力を出し合い、時には行政の力を借りながら、老人会のリーダーとしての役割を果たしていきたいと思えます。

当面の課題は、会への加入者を増やすことです。会員の皆さんが自分の周りの対象者に声を掛ける努力をしています。ですが、思うようにはいきません。「会員になったらこんないいことがありますよ」「会に入ったらあなたの知恵を貸して下さい」となどの呼びかけが必要だと痛感しています。

いま、一番問題になっているのは、各地区老人会の会長のなり手がいないために解散するクラブが出てくることです。危惧していましたが、最近二つのクラブが解散・休会してしまいました。「会長のなり手がいない」との話が出た時に、女性の皆さんが「私が会長になります」と積極的に手を挙げてほしいと思います。

「会長は男性」という固定観念がまだまだあるようですが、男女共同参画の時代です。尻込みは無用です。いろいろなサークル活動への参加者は女性の方が多いのが現実ではないでしょうか。すでに女性の出番は始まっていると思います。

男性の皆さんの知恵と力を大事にしながら、解散や休会の話が出た時には、せっかく続いた老人会を存続させることを第一に考えてほしいと思います。女性会長として私はお願いしやすい立場にありますので、女性の出番をつくるために働きたいと思っています。

輝く会員章をあなたの胸に！

●お申込み・お問い合わせは、所属の市町村老連または、府老連へお願いします。

●会員章には、ピン止め式とタック式の2種類があります。

色彩

内側の円(日章)が赤。外側の鶴が白。
外周線を金色とする。

1,000 円

金メッキ入り高級七宝製



お申し込みは府老連まで

「みんなで歌う愛唱歌集」

■全 200 ページ 162 曲

■定価 700 円 (税込) 大好評発売中！



府老連

2018. No. 162

きょうと

平成30年1月10日発行 発行人 香月 芳雄
発行 (一財)京都府老人クラブ連合会(愛称:きらりクラブ京都)
〒604-0874 京都市中京区竹屋町通烏丸東入ル清水町375
京都府立総合社会福祉会館(ハートピア京都)8階
TEL (075) 256-7955 FAX (075) 256-7956
E-mail:mail@k-furouren.or.jp
URL:http://www.k-furouren.or.jp



きらっ都くん
(マスコットキャラクター)

京都ゆかりの一休さんをモチーフに、会員が知恵・勇気・元気を出して快活に活動する姿をイメージ